



祐介の目

大田ゆうすけ

(福山市議会議員)

No.67

毎月1日号に掲載

催している。新幹線のぞみが停車する福山駅周辺のキヤンパスには全国から学生の応募が期待できる。

この案の実現の後押しとして、駅前広場の再整備が必要だ。学生の車の所持率は低く交通弱者と言える。

福山駅を福山城駅に？

先日、ドット・ジェイピー(JP)議員インターンシップの大学生を受け入れた。JPとはジャパン・プロデュースの略であり、「未来自治体」という政策コンテストを開催している。「もし、あなたが地域のリーダー(市長)だったら、30年後にどんなまちにしたいですか?」という内容だ。私も福山大学経済学部・税務会計学科の3人の学生と共に参加した。

私たち4人は福山駅前の活性化に焦点を絞り、以下の提案を行った。最初は「駅前学園構想」だ。具体的には約4000人の学生を擁する福山大学と約3000人の学生を擁する老人大学の駅前誘致であり、場所はキャスパ跡地とエフピコ・リムが適している。全国で大学が郊外から中心部に帰帰する傾向がある中で、福山大学はすでに駅北側に宮地茂記念館を有し、入試や特別講義を開

解決策として福山駅から路面電車(LRT)を走らせれば多くの学生が通学に利用するだろう。学生の普段の足である自転車駐輪場も足りない。利用が低迷している地下送迎場を駐輪場に転用、タクシー待機場をマイカー送迎場とし、タクシーは現在のバス待機場を利用、バスは市役所北側広場にて待機でどうか。

最後に福山城を木造再建し、民間に委託して結婚式等に活用することにより収益を上げて建設費を償還するという案はいかがか。掛川城はこのスタイルにより成果を挙げている。学生が待の恰好をして観光客を案内すれば京都と同じような雰囲気を出せるだろう。併せて福山駅を福山城駅と改称すれば、本市の知名度は飛躍的にアップする。福山の地名は知らなくても、駅からお城に見える駅は皆知っている。新幹線・小郡駅が新山口駅と改称した前例もあるのだから、大いに議論したいものだ。